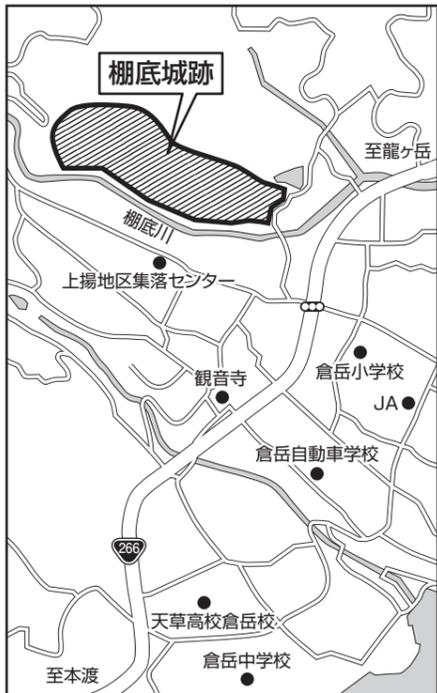




1 郭の岩盤に掘られた柱穴
(建物がくり返しくられた跡)

※城跡は私有地です。見学に際しては、ゴミを持ち帰るなどマナーをお守りください。また、散策路などが整備されていませんので、足元には十分ご注意ください。



【問い合わせ先】
本庁(別館)・文化課文化財保護係
☎231111内線2531

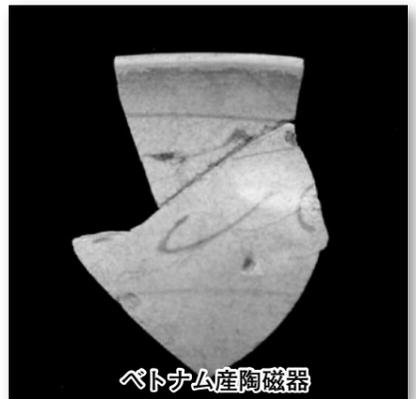
国史跡に指定されるということ
は、「貴重な国民的財産」として
認められることとなります。重要
遺跡として保護に努め、また、こ

今後の方針

れから地域の歴史を学ぶ場所とし
て見学しやすい環境を整える計画
です。皆さんのご理解とご協力を
お願いします。

上津浦氏対栖本氏の戦いの記録
が残る16世紀半ばは逆に遺物量が
少なく、生活拠点から軍事拠点へ
変化していることも明らかになり
ました。
都から遠く離れた海に近い城
で、自由に豪快な海賊たちが唐物
の茶碗で宴や茶の湯に興じている
イメージが浮かびます。発掘調査
により、当初予想もしていなかつ
た城の姿が明らかになりました。

棚底城跡は決して有名な武将の城
ではなく、群を抜いて大規模な城
でもありません。
しかし、島の城郭として時代ご
との変遷がはっきりと把握され、
海に根ざした中世天草の政治、経
済、軍事など地域の知られざる歴
史の一部が明らかになりました。
これに加え、城跡そのものがよ
く保存されている点が評価され、
国の史跡として認められました。



ベトナム産陶磁器

しかし、棚底城の城主は、ずつ
と山の上の城に暮らし、しかも豊
かな生活をしていたと考えられる
のです。山の上に立派な館を建
て暮らす、他の地域の領主とは、
少し違う生活観を持っていたよう
です。また、記録は16世紀半ばの
ごく短い期間しかありませんが、
調査によると陶磁器は、14世紀後
半から16世紀後半まで幅広い年代
のものが出土しました。このこと
からもわかるように、記録に残る
ずっと前から、城での生活が行な
われていました。
陶磁器の中に、15世紀前半のベ
トナム産の磁器片がありました。
これは中世遺跡で対馬や吉岐、沖
縄などとの海上交易や「倭寇」と
いう海賊稼業にゆかりの深い遺跡

最近の研究で、都の將軍家に近
い勢力ほど、国産土器をたくさん
消費し、格式ある武家儀礼に使っ
たことがわかっています。棚底城
の人々は、中央の格式にあまりこ
だわらず、輸入陶磁器を好みまし
た。一方、このころ、茶の湯など
も楽しんでいたことが、「天目茶
碗」や「石製風炉」など茶の湯道
具の出土からわかっています。

しか見られない貴重な出土遺物
です。そして遺物量から生活の最
盛期が、15世紀後半から16世紀前
半にあることも突き止められまし
た。国産の土器は少なく、中国産
の輸入陶磁器が遺物量の半分を超
えます。地理的状况から、海外産
の陶磁器を手に入れやすいところ
だったようです。



石製風炉(茶の湯用カマド)